

デュオよこすか ひとりで悩まないで相談してみませんか

— ご存知ですか? デュオよこすか「女性のための相談室」 —

「女性のための相談室」では、女性が抱える人間関係や生活上のさまざまな悩みについて女性の相談員がご相談をお受けしています。

一口に「人間関係」といっても、夫との関係、子どもとの関係、親との関係、自分や夫の親戚との関係、職場の上司・同僚・部下との関係、友人との関係、近所づきあいなど、いろいろあると思います。人間関係に限らず、仕事がかまくいかに落ち込んでいる方、また、今の生活の中で希望が見出せないともやもやしている方、漠然と将来が不安な方…。

こんなこと話してもいいのかしらと思わないで、「デュオよこすか 女性のための相談室」に相談をして気持ちを楽にしませんか?

なお、法律上の悩みには、月1回の法律相談日に、女性の弁護士が相談をお受けします。

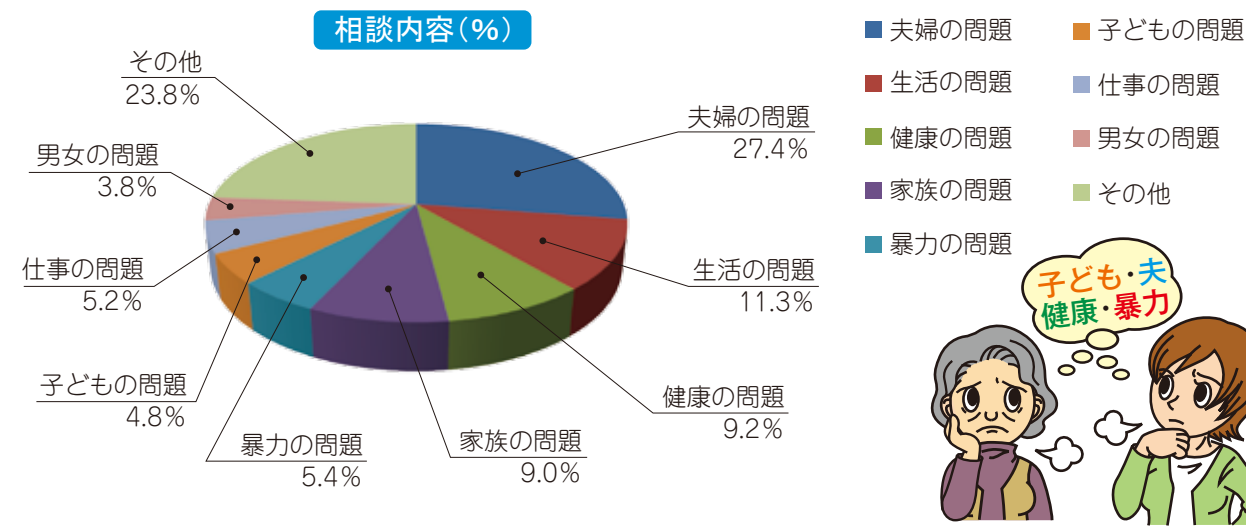
※ご相談の内容によっては、より適切な相談機関をご紹介しますことがあります。
※相談は無料です。

一般相談	法律相談（予約制）
毎週 月・水・金曜日 午前9時～午後4時 電話または面談による相談 電話：828-8177	月1回 毎月第2次曜日 午後1時30分～午後4時30分 ※平成22年3月受付分から相談日が変わりました お一人様40分です。 予約は一般相談の時間にお受けします。

◆相談室情報◆

デュオよこすか女性のための相談室には、このような相談が寄せられています。

(平成21年4月～22年1月までの計478件のご相談の内訳)



デュオよこすか

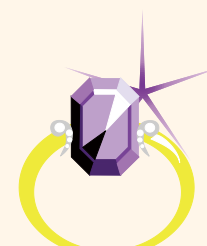
月曜日～土曜日 午前9時～午後9時 日曜日 午前10時～午後5時
休館日は、年末年始(12月29日～1月3日) 図書貸出し(2週間で3冊まで)
コミュニケーションや、ココロとカラダに関する本もご紹介します。

〒238-0041 横須賀市本町2丁目1番地
横須賀市立総合福祉会館5階 電話046-822-0804



人権・男女共同参画課からのお知らせ

◆好評企画「キレイ体験」を、今年も行います◆



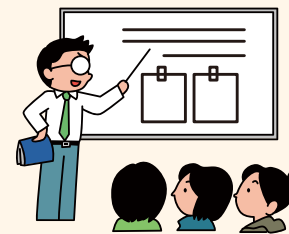
毎年6月に総合福祉会館全体で「ふれあいフェスティバル」というイベントが行われています。デュオよこすかでも、このイベントに合わせて「デュオよこすかまつり」という催しを行い、昨年は、鎌倉早見美容芸術専門学校生徒さんによるメイクアドバイス、ハンドマッサージ、ネイルアートを、延べ172人の方に体験いただき、1日で237人の方に「デュオよこすか」にご来場いただきました。

今年も昨年大好評だった「キレイ体験企画」を行う予定です。キレイ体験はココロも明るくします。いきなりお店に行くのは敷居が高いけど、ちょっとやってみたかった…そんなあなたにはチャンスです！年齢や性別は不問ですが、時間によってはお待ちいただく場合がありますので、お早めにご来場ください。

6月6日(日) 10時～15時 総合福祉会館5階 デュオよこすか

◆人数限定！「デュオよこすかミニ講座」を企画中◆

デュオよこすかでは、テーマを変えたミニ講座を今年度中に5回程度開催する予定で現在企画中です。少人数だから講師との距離も近く、同じようなことに関心を持つ参加者とネットワークができるかも！講座の開催が決まったら「デュオよこすか」でいち早く発表するとともに、「広報よこすか」などでお知らせします。



市民編集委員 編集後記 この情報紙のメイン記事は、公募による市民編集委員が担当しました。

今回は、全国的にも年齢的に若く手腕が目ざされている吉田雄人市長と、ジェンダー(フェミニズム)研究者の間では現在の日本で最も有名な上野千鶴子さんに直接お話をうかがう機会に恵まれ、市民編集委員として大変貴重な体験をさせていただきました。

私自身も、吉田市長のおっしゃるように、これからは男性といえども要介護の状態になった時には事業者のサービスを受けることを積極的に望むような社会になることが、家族の負担を軽減する点からも男女共同参画の点からも良い方向性だと思いますし、また、いつかはみんな社会的弱者になる日がくるのですから、上野さんがおっしゃるように、男性といえども普段から弱みを見せ合ってつながることを学んでいったほうが、孤立することなく将来的に楽しく人生を送るためにも良いのではないかと思います。

(川瀬)

思想は絶対的に保障され(憲法19条)、それを表現することも公共の福祉を害しない限りは制約を受けず(同21条)、憲法は多様な考え方を許容しています。男女共同参画についても、積極的に推進すべきと考える人もいれば、早急な推進に懐疑的な人もいます。このように、民主主義においては、意見の対立はあって然るべきであり、お互いに議論を尽くすべきといえましょう。

また、少子高齢化が進行している現在、老いとは社会全体の問題でもあり、かつてのように経済成長が見込めない中で、介護を支える労働人口も減ってきています。そこで、介護に対する我々国民の負担なども改めて考え、主権者として、よりよい日本の明日のため、それぞれが考えを持って議論をすることが重要ではないかと思います。

(龍崎)

◎この広報紙は10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は19.5円です。
◎この広報紙は、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律)に基づく平成21年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作製しています。温室ガスを、1990年比で25パーセント削減 → 2020年までに… → 指導的地位に女性が占める割合を、少なくとも30%に

インタビュー

「男女共同参画について
吉田雄人市長に聞く」

講演会報告

「上野千鶴子さん 講演会」

デュオよこすか便り

「ひとりで悩まないで相談してみませんか」
(ほか)

平成22年(2010年)3月発行
【発行】横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話 046-822-8228
e-mail : we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
HP : http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/gender/



かんたん介護・老後検定

将来のことを見すえて…現在の介護・老後に関する数字・語句をチェック!

●現在、日本の男性の**平均寿命**は約(Q1: □@77、□@79、□@81)歳、日本の女性の平均寿命は約(Q2: □@82、□@84、□@86)歳である。 <厚生労働省の簡易生命表(平成20年度)より>

●現在、65歳以上の人口は日本の全人口の約20%を占めているが、**一人暮らしの高齢者**(高齢者単身世帯)は(Q3: □@186、□@386、□@586)万世帯、**高齢者夫婦世帯**は(Q4: □@449、□@649、□@849)万世帯となっており、高齢者だけで暮らしている世帯の数は15年前と比較するといずれも倍以上の増加傾向を見せている。 <平成17年の国勢調査より>

●現在の主な介護者と要介護者の続柄は、要介護者と同居している家族介護者の割合が60%となっており、事業者や別居している家族介護者の割合と比較しても圧倒的に多い。また、同居している主な**介護者の性別比**では、男性が(Q5: □@8、□@18、□@28)%、女性が(Q6: □@72、□@82、□@92)%となっている。 <厚生労働省の国民生活基礎調査(平成19年度)より>

●現在の横須賀市では、**自分の介護をしてほしい人**として、女性は(Q7: □@介護サービスの利用、□@配偶者、□@施設への入所)を望む人が最も多いのに対し、男性は(Q8: □@介護サービスの利用、□@配偶者、□@施設への入所)を望む人が最も多く、男女(夫婦)間で異なっている。

また、**子の世代**で自分の介護をしてほしい人としては、男女ともに(Q9: □@実の娘、□@実の息子、□@息子の妻(嫁))を上げる人が最も多くなっており、期待する介護者の性別に有意差があるといえる。

さらに、「**家族の介護は女性が担う**」という考え方に対し、「賛成」または「やや賛成」との回答をした人の割合は、女性では半数以下(47%)にとどまっているのに対し、男性では(Q10: □@57、□@67、□@77)%にもものぼっており、介護を期待する側の性別によっても考え方に有意差があるといえる。 <横須賀市の男女平等に対する意識とニーズに関する調査報告書(平成18年)より>